

2020年3月期決算（参考資料）

「新型コロナウイルス感染症の影響について」



General Oyster
group

株式会社ゼネラル・オイスター

(3224)

2020年5月15日

店舗運営状況

	3月 (2020年3月30日時点)	4月 (2020年4月30日時点)	5月 (2020年5月11日現在)
総店舗数	26店舗	26店舗	26店舗
内、営業時間短縮店舗	14店舗	4店舗	5店舗
内、休業店舗	6店舗	21店舗	20店舗

・2020年4月7日に、「緊急事態宣言」が発令され、大半の店舗（百貨店や商業施設へ出店している店舗）は休業となり、路面店は時間短縮営業の実施。富山・入善の店舗「牡蠣ノ星」の1店舗のみ通常営業。

・新型コロナウイルス影響前の2020年1月までは、既存店売上高対前年比はプラスに推移していたが、2020年2月からマイナスに転じ、2020年3月は▲43.1%。2020年4月はさらにマイナスが拡大している状況。

1

必要資金の確保

手元流動性は確保できているものの、緊急事態宣言が2020年5月末まで延長となり、売上高減少が長期化する状況に備え、2020年4月の銀行借入(2.1億円)に加え、2020年5月以降さらに追加の借入(予定)で、必要な資金を確保する方針。

2

工場やセンターの機動的な稼働への転換

緊急事態宣言を踏まえ、キャッシュアウト削減の観点から、工場やセンターなど拠点の、一部稼働休業、時間短縮など機動的な稼働へ転換

3

店舗及び、センターなどの取り組み

お客様と従業員の安心安全を確保するための施策を強化・徹底
【消毒液（微酸性電解水）を店内すべてのテーブルなどに設置、マスクの着用、手洗いの徹底】

4

本社の取り組み

業務の見直しやワークシェアによる、一時帰休・リモートワークを実施中